

令和1年度中学生模擬議会 記録

日 時：令和元年11月22日（金）

午前9時30分～11時30分

会 場：本会議場

出席者及びサポート：吉川中学校3年生48人、先生4人（校長含む）

正副議長、各常任委員会正副委員長、議会改革推進会議委員

※ 事務局は、通常本会議同様の体制（局長除く）で対応

傍聴等数：保護者等14人、上記以外当市議員9人、報道5人

1. リハーサル

- ・生徒は各自の席に、着席
- ・議長挨拶
- ・滝沢座長の進行で、開会から質問者1番の渡邊議員までをリハーサル
渡邊議員は、本番同様に自席からの動きをし、各生徒がそれを確認
- ・下記のように、全員で記念撮影
（終了後、若干の休憩）

（集合写真）



（次ページへ続く）

2. 模擬議会本番

- ・シナリオに基づき進行（シナリオ、質疑内容、座席表：別紙1，2，3）
- ・生徒が戸惑うこともなく、順調に進行し、予定より短時間で質疑終了
- ・最後に杉田副議長挨拶
- ・（終了後、時間に余裕が出たことから、議会フロア各室を見学）



3. 生徒まとめ（11/26 事後学習にて）

（別紙4）

4. 担当の武田教諭まとめ（11/26 事後学習にて）

- ・「公民の教科書には載っていない、上越市は広くいろいろなことを行っている」こうしたわからないことがたくさんあった。「本当はこれも知りたい、あれも知りたい」というのが、生徒皆の感想ではないか。
- ・知りたいことのほんの一部だけ質問した。頭の中に疑問がたくさん出て、上越市に住む自分自身がどうあるべきか、ということを考えてさせてもらういい機会になった。
- ・生徒総会は、質問し、はい、わかりました。で終わってしまう。再質問の意義を今回教えていただいた。
- ・議論するということ、運営の方法など、生徒総会でぜひ生かしていきたい。
- ・事前にいろんなことを学んで、いろんなことをデータとして出してもらった方が、説得力があってよく理解できるというようなことも教わった。
- ・これからの生活に必ずどこかで生きていくと考える。そういう機会を与えてくれた皆さんに感謝。

5. 推進会議委員所見

（別紙5）

模擬議会についての生徒まとめ

●記載様式について

- ・ 中学校では課題解決検討にK P T法を通常から使用しており、その様式で記載。
- ・ K P T法とは
 - K : keep = 良かったこと (今後も続けること)
 - P : problem = 悪かったこと (今後はやめること)
 - T : try = 次に挑戦すること
- ・ 事務局にて、若干、文言体裁を修正。

1 厚生1班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊張したが、楽しかった。 ・ 色々なことを考える場になった。 ・ 政治に興味を持てた。 ・ 市の行政について知ることが出来た。 ・ 議会の雰囲気を感じる事が出来た。 ・ 自ら、問題点に対して考えることが出来た。 ・ 議員と身近に接することが出来た。 ・ 政治を身近に感じる事が出来た。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議場での振る舞いを知っておくため、事前に本当の議会の傍聴や、インターネット配信で見ておく。 ・ 今回の議会をこれで終わりにせず、市の現状について興味を持ち、考えていきたい。 ・ 今回の経験を後輩に伝えていきたい。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議場での振る舞いをしっかり知っておきたかった。 	

2 厚生2班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大変なことを行っていることを知った。 ・ 普段、気付かないことに気付くことが出来た。 ・ 自分の意見をしっかりと持てた。 ・ 議員の体験が出来た。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSの利用や周りに話すことで、この体験を周りに広められると良い。 ・ 他の学校なども出来ると良い。 ・ 自分の意見を素直に伝えると良い。 ・ 上越市についてもっと知るため、広報上越やかかけはしを読むなど家でも出来ることをする。 ・ 全員が質問するためには、もっと時間が必要。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ にぎやか(活発)に話し合いが出来れば良かった。 ・ 上越市についてもっと知っておけばよかった。 ・ 事前学習をもっとできればよかった。 ・ 1人だけが質問するのではなく、全員が出来ればよかった。 	

3 農政建設1班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治を身近に関心を持てた。 ・授業とは違う学びが出来た。 ・自分にもできることを考えた。 ・残りの人生で役立てたい。 ・地域の農業に関心を持てた。 ・時間配分 ・議長役が頑張った。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う人が再質問できるように質問者を増やす。聞いているだけにしない。 ・模擬議会を1年に2回開催し、多くの人に体験してもらう。 ・答弁と質問の時間を分けるなど時間配分の工夫が必要。 ・あいさつを忘れない。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問に興味、関心が無く、うつらうつらしてしまった。 ・あいさつが出来なかった。 ・聞くだけで、参加した実感が無い。 ・質問者を増やすと違う人が再質問できる。 	

4 農政建設2班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治が身近な所にあると感じた。 ・直接議員と話し合うことが出来た。 ・政治は社会に関係していてすごいと思った。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の一環として、議員から学校に来てもらう。 ・議員と接する機会を増やすため、自分たちが議員のいるところに行く。 ・地域と関わる機会を増やすため、積極的にボランティア活動に参加する。 ・質問を考える時間を増やす。 ・資料をしっかりと読んで理解する。 ・議員のように答えを早く出す。 ・傍聴者を増やす。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員と会う機会が少ない。 ・今よりも良い上越市を創り上げる。 	

5 文教経済1班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上越市のことを改めて知ることが出来た。 ・自分にも馴染みが深く、関係のあることだと分かった。 ・市に関わることなので重要ということが分かった。 ・ヤジを飛ばしている人がいて、テレビで見る国会中継みたいだった。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が議会をするということをもっとPRするべき。 ・本番に向け、時間を作って練習する。 ・質問と答えの時間を10分くらいにする。 ・回答をメモし、再々質問をする。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶっつけ本番だと心配になるため、練習をもう少しやりたかった。 ・演壇にいる人がお辞儀をしたのに、座っている人はお辞儀を返さなかった。 ・質問と答弁の時間（8分）が短かった。 ・質問したのにそれに対する回答が戻ってこなかった。 	

6 文教経済2班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域について、より知ることが出来た。 ・観光振興について知ることが出来た。 ・上越市の色々なことが分かった。 ・今まで以上に議会について考えることが出来た。 ・市のために何が出来るか考えていきたい。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答弁のパターンを考えて再質問のパターンを増やす。 ・模擬議会についてもっと知る。 ・質問者に任せきりにしないように答弁をメモする。 ・お辞儀等マナーをもっと良くするべき。 ・本番に近い実践的な練習を事前学習の時にしておく。 ・準備時間をもう2時間増やす。 ・本番でもっと長い時間が欲しかった。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答弁と再質問の内容が噛み合っていない。 ・会釈がしっかりしていなかった。 ・呼ばれた時の返事が小さかった。 ・準備時間が足りなかった。 ・発表者に任せきりになってしまった。 ・答弁のメモと聞き取りが出来なかった。 	

7 総務1班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な体験が出来た。 ・勉強になった。 ・議員が分かりやすく教えてくださった。 ・議会のことが良く分かった。 ・みんな真剣に取り組んでいた。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手がより理解できるように具体的な例を出す。 ・相手が礼をしたら、礼を返す。 ・呼ばれたら返事をする。 ・たくさん模擬議会を開けば、全員が質問できる。 ・学年で全員質問するには、8～9日間必要。 ・再質問は、本来ならばその場で考えなければならぬから、メモをした方がよい。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・礼をしている人としていない人がいた。 ・質問を具体的に考えるのが大変だった。 ・一部の人しか質問をしていない。 ・メモを取っていなかった。 ・返事をしていない。 	

8 総務2班

<p>K</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な体験をすることが出来た。 ・議会について理解を深めることが出来た。 ・知らなかったことを知ることが出来た。 	<p>T</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきなり感想や意見を言ってもらおうようにする。 ・事前学習の時間を増やす。 ・生徒総会の雰囲気を変える。 ・生徒総会の会長のイスを高く、目立つようにする。 ・生徒総会でも再質問をする。 ・模擬議会以外でも議員と関わる機会を作る。
<p>P</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この体験がうまく生かせるか分からない。 ・もっと質問する時間が欲しかった。 ・もっとたくさん質問をしたかった。 ・座っているだけの人も何か出来たら良い。 ・お茶を飲んでいいのか迷った。 	

模擬議会についての各委員所見

『模擬議会を振り返って』

議会改革推進会議 座長 滝沢一成

令和元年 11 月 22 日、上越市議会は、中学生参加の「模擬議会」を初めて行いました。

公民の学習で「地方自治」を学ぶ中学生の皆さんに、市議会での実際のありようを体験してもらい、議会への理解を深め、将来的に自治を担う市民としての自覚を芽生えさせてほしい。またこうした取組を通じて、広く市民の皆さんからの議会への理解をも深めたい、そんな目的から「中学生模擬議会」を実施することとしました。

実施にあたりまず直面した課題は、模擬議会を引き受けてくれる中学校が現れないことでした。校長会にお願いするなど様々なアプローチの結果、ようやく吉川中学校が引き受けてくれたのです。各学校の年間のカリキュラムが新年度初頭にはすでに組み立てられており、学校側に新たなコマを入れる余裕がないことが主な原因であったかと思えます。このアプローチの時期の問題は反省点です。

急なお願いにもかかわらず、引き受けていただいた今回の吉川中学校の校長先生とご担当の主任には心から感謝申し上げる次第です。

もうひとつの課題は、行政の協力についてです。当初の計画案では、中学生が議員役となり、市長・教育長をはじめとする行政（理事者）側は、市にお願いしたいとの考えもありましたが、今回は議会の発案であり議会でまず始めてみたらどうかと考え、我々議員が行政役を務めることになりました。

ただ責任の重さが増えた分、各常任委員長はじめ全議員が真剣に向き合う大きな原動力になり、良かったと考えています。ただし答弁書を、各常任委員長が用意するという負担については、あらかじめしっかりと伝えておく必要があったと思えます。

本番前二回にわたって、議会改革推進会議の議員 9 名と議会事務局が吉川中学を訪れ、出前授業を行いました。どんな質問をしたら良いか中学生自身が考えるお手伝いをしてきたのです。4 常任委員会に合わせ、8 班に分かれた生徒たちが、議会事務局が用意した資料とそれぞれの班についた議員からのアドバイスをもとに、質問・再質問の内容を話し合いました。

社会の問題、上越市の課題を質問するにあたり、中学生の皆さんが自分たちに身近な出来事、関心ごとからアプローチする姿には感心しました。

11月22日市議会本会議場に吉川中学3年生48名を迎え、中学生模擬議会を行いました。

中学生が議員役、私たち議員が市長はじめ行政役となり、中学生8名の一般質問に議員（議長、副議長、各委員長）が答えました。各委員の所見にあるように、当日の生徒たちは実に堂々と大役をこなし、掛け値なく感動ものでした。

質問した8名の生徒たちは、全員物怖じすることなく、堂々と質問してくれました。質問内容は、虐待問題、鳥獣被害と鳥獣保護、高田公園景観整備、水族博物館と観光、納税など、多岐にわたりました。

議長役、局長役の二人も大きな声で見事に仕切ってくれました。

質問項目はすべて生徒たちが考え用意したものです。行政役の議員の答弁は、先に記した通り、部長役の各常任委員長が書いています。

質問、答弁の内容については、別添の記録をご参照ください。

11月26日には事後学習ということで吉川中学へ伺いました。

生徒たちがKPT法ホワイトボード・ミーティングで模擬議会の振り返りを行いました。keep（良かったこと）problem（問題だったこと）try（解決へ）と順に考え、ホワイトボードに書いていきます。我々議会も「市議を目指しやすい…」でホワイトボード・ミーティング®を活用したのである程度わかるのですが、KPT法を生徒たちが「いつものように」行う姿は驚くとともに新鮮でした。

生徒さんたちのまとめがどれもしっかりしていて、感心しました。本会議場での本番といい、事後学習といい、中学生たちは私たち議員あるいは大人の想像を超えた力を持っていると感じました。

模擬学習をやったことに対して、大方の班が良かった、またやりたい、もっと長くやりたかった、自分も発言しなかったなど、積極的に評価する声をあげてくれました。

【これからに向けて】

今回初めて模擬議会を行ったことで、見えてきた課題があります。各委員の所見から主なものをあげ、来年度の継続の参考とします。

《事前学習について》

- 本会議のあり方を事前に動画を見て学習しておくことが必要。
- 積極的に発言する生徒に限られる傾向がある点に注意。
- 議員の考え方が押し付けにならないようにする。より生徒の自主性に任せてよいのではないか。

《模擬議会当日について》

- 質問を行わない生徒たちの参加意識を高める工夫が必要か。
- 今回議員が理事者役を担ったが、理事者が参加する形をとる可能性を考えても良いのではないか。

《全体的に》

- 学校への依頼時期、依頼方法について最適な方法を今一度考えること。
- 学校、生徒に最も負担の少ない時期、最もタイミングの良い時期はいつかも今一度精査する必要がある。
- 事前学習を2回やったが、実際は学校が3時限分追加してくれた。それが無かったら間に合わなかったかもしれない。学校の負担についてさらに精査が必要。
- 生徒自身が事後学習においてあげた「課題」の一つひとつを、主催者である議会が真摯に精査する必要がある。
- 一般質問の原稿構成において、改良の余地がある。

最後に。

この模擬議会の目的を繰り返せば、私たち議会にとっては、議会をより知ってもらい、身近に感じていただくことでした。生徒たちにとっては、地方自治の仕組みの一翼を担う議会を実地に知ることにありました。

今回の試みは、その目的を十分果たせたのではないかと思います。それだけでなく、私たち議員が自分たちの役割、というか「原点」を見直す良い機会になったのではないかと感じています。

模擬議会の実施は、上越市議会にとって実り多きものであり、大切な取組としてこれからも継続していくべきだと考えています。

各委員所見（担当質問順）

（江口委員）

- ・良かった点
 - ① 生徒自ら、与えられた資料の中から、また、今現代の社会情勢を見つめる中から、課題を見つけ質問にしていってところが素晴らしいと思った。
 - ② 再質問は、地元のことも踏まえて政策提案にして考え、発言してくれたことが、素晴らしいと思った。
- ・今後の検討としてほしい点
 - ① 生徒達は、実際に本会議のやりとりは見ていない生徒が多いので、自分となった時に、多分具体的な事がわからないのではないかと思う。本会議のダイジェスト版(動画)を作って見てもらうのも良いのではないか。

- ② 答弁した委員長によっては、堅苦しい表現だったので、中学生にわかりやすい言い回しとした方が良い。

(山田委員)

今回初めて、中学生と事前学習から事後学習まで取り組ませていただき、こちらが良い経験をさせていただきました。

事前学習前に、生徒の状況をお聞きしていたので、なるべく生徒のみんなが発言出来るように進めましたが、なかなかうまくいかなかったのが率直な感想です。

生徒が普段地域で目にしていないことを質問に出来たことは、生徒自身納得したのではないのでしょうか。

模擬議会当日の質問やり取りは、一人ひとりが落ち着いてグループの代表として責務を果たしている姿は、安心して見ることが出来ました。多くの生徒が体験する事を考えると、再質問は別の生徒にやっていただくことも次回の検討事項とも思いました。

事後学習は、KTPで生徒が積極的に意見を出しまとめ上げる姿は、普段から活用していることがわかり、発表も落ち着いて行っていました。逞しさを感じました。

今後も続けて行ければ良い議会改革になると思います。

(宮崎委員)

1. 良かったと思う点

- ・生徒の真剣な取り組みに感銘した（質問態度が素晴らしかった）
- ・先生の的確な指導が感じられた（先生の忌憚のない意見を伺いたい）
- ・生徒の質問ポイントの捉え方が、初めてとは思えなかった

2. 議会として検討しなければならないと思う点

- ・質問内容が、担当した議員の思惑があるように感じた。
- ・担当の議員が、生徒に、「再質問」の意義をどのように説明できていたか。

- ・生徒側から、他の生徒も関連質問して一人でも多くの生徒に体験させてはどうかとの意見があり。

※ こうした質問形式は、上越市議会では行っていないため、

現場体験としての模擬議会では、考えていません（事務局補足記載）。

- ・質問時の生徒の「返事」「挨拶」「挙手」について、関係議員の指導通り行い大変良かった。議員は積極的に見習うべきでないか。
- ・（委員側）校舎内での移動中に、私語が多すぎる。

(丸山委員)

より良い市政をつくって行くには、市民が市政に関心を持つことがとても大切です。地域の生活課題や地域を支える仕組づくり等に、直接的・間接的によらず市政に関わりを持つことで、市政運営に与える影響度が増します。

この度、初の試みとして吉川中学校生徒の参加の下で開催した模擬議会は有意義なもので、将来の新たな議会議員誕生に期待が持てる出来栄でありました。「政治とは」「市政運営とは」何かなど、生徒は民主主義のプロセスを学ぶことができたと同時に、数年後、責任ある市民として社会参加していく上で、貴重な体験、基礎教育になったのではないかと思います。また、公職選挙法の一部が改正され、年齢が満 18 歳以上の者に選挙権が与えられたものの、投票率が悪いのが現状ですが、投票率の低下防止策の一助になったのではないかと思います。

今回の開催で得た課題等を整理するとともに、次回は、本来の議会により近づけるため、理事者側(市長等)の参加を促すことも必要と思います。さらに、将来的には各校から手上げ方式で議員定数の 32 名を人選し、「市に期待するもの」など、複数のテーマを設定し、活発な質疑になるよう仕掛けて行くことも大切であるように思います。

(宮川委員)

平成 29 年度に取り組まれた「若者や女性が市議会議員を目指しやすい環境を整備する検討委員会」の提言に示された「市民にとって議会が身近になる“議会の見える化”を図る」議会改革の一貫として、本年初めて取り組んだ政策であります。当初は手上げする中学校がない中、中学校長会の会長に開催ご協力をお願いに正副座長で何うなど生みの苦しみが伴いました。結果、年間行事が決まっているタイトなスケジュールの中、手を上げてくれた吉川中学校には大いに感謝しています。

そして内容も事前学習、本番、事後学習も含め、生徒は堂々としており素晴らしいものでした。

今回は、何よりも担任の武田先生の指導力と校長はじめとする学校側のご厚意に甘えた部分に頼ったところが大きかったです。

そのように感じた理由と課題として、学校側の負担が大きすぎること。今後続けていく為にも学校側の負担を減らす事が必須です。議員も同席した事前学習に 2 日間 2 時限、本番は午前中の 4 時限、事後学習に 1 時限と併せて、議員が同席しない別日の学活 2 時限を要したトータル 9 時限は、受験を控えた 3 年生にとっても教師にとっても負担的に過度と思います。

今後、お願いするにしても受験生でなく 2 年生にするとか、時間短縮など負担軽減策を協議すべきと考えるが、初めてにしては生徒や学校側の満足度も高いように思え概ね成功と思います。

(上野委員)

今般、議会改革の一環として中学生模擬議会を開催した。受けて下さった吉川中学校の校長や武田先生をはじめ教職員のみなさんや、何よりも 3 年生生徒全員に感謝をした。

2 度の事前研修と本番、事後研修と、「公民」の授業の中でとはいえ、我々と違って大変な準備と苦労を緊張感の中で、しかもどうどうと議員顔負けのパフォーマンスを実践

されたことに、ある種「吉川中学校の3年生はみんな素晴らしいな」と感じた。

「一般質問」の内容についても我々のアドバイスをしっかりと聞き、そしてみんなで意見を出し合って中身の濃いものにしていく過程は、課題に対しての真剣さを感じたし、みんなで作った質問は、それ自体短かったが、的をしっかりとついていた。

18歳になったら必ず議会や政治に関心を持ち、自分たちが社会と向き合っしっかりと主体的に行動できるようになることを期待している。今回の体験は、社会を主体的につくりあげていく良いきっかけになればと思っている。

（飯塚委員）

中学生にとって殆ど無縁であった地方自治、行政のあり様の一環に接することができる良い企画であった。

吉川中学校一校を対象とした模擬議会であるが、初年度の取組として大成功と感じた。

今後、いかに多くの中学生に地方自治に関心を持ってもらえるか、自由時間の多い夏、冬休み期間での取組等、無理のない仕組みづくりを考えることが大切と感じた。

学校から、模擬議会の評価を聞きたい。その上での取組方を再検証すべきでないかと感じた。

（内山委員）

吉川中学校御中（3年生、学校長及び担当先生）

《 所 見 》 内山米六

今回、吉川中学校3年生の皆さんは、「模擬議会」を社会「公民」授業の一環として積極的に取り組んでいただきました。全ての生徒と先生方に感謝と御礼を申し上げます。

事前学習	<p>◆質問事項</p> <ul style="list-style-type: none">・吉川区の身近に起きた水害を振り返り、①当市で水害が起こりやすい場所②高齢者がスムーズに避難するためのハザードマップの理解への取り組み③当市の水害対策の想定規模、そして再質問では、「妊婦や障害者など弱者の避難対策」をまとめ上げた。 <p>◆感心した点</p> <ul style="list-style-type: none">・少しのアドバイスを理解し、すばやく文章化する能力に長けていることでした。脳の柔軟性を垣間見た気がします。さらに磨きをかけてほしい。
------	---

事前学習	<p>◆改善すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで意見をまとめる際に、限られた生徒たちの意見でまとめていたように思う。 ・時間のない中であつたが、極力全員の意見を聴いてまとめるという心配りが必要だったと思う。 ・本番では、時間的に質問する人は限られる。この場で自身の思いや考えを発言する（自身の意見を本番の生徒に託す）ことで、本番の質問にも参加したことになるのではないか。
本番（リハ倉）	<p>◆リハーサルは、最初の一人、しかも僅かな時間で全部を通したものでない中、迎えた本番！</p> <p>総じて質問した全員、おじけず、姿勢も良く堂々とした一般質問で、とても初めてとは思えないほど立派で、感動ものだった。</p>
事後学習	<p>◆KPT という手法を取り入れ、各生徒が事前に感想がまとめられ、スムーズに運んだと思う。</p> <p>◆素直な意見・貴重な意見や感想ありがとう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な体験、議会について理解が深まった、政治が身近に、興味をもった ・議員と身近に接することが出来た、事前学習をもっとできればいい ・他の学校などもできればいい、聞くだけで参加した実感がない ・多くの人に体験してもらうため2回/年の開催 ・今よりも良い上越市を創り上げる ・大変なことを行っていることを知った ・この体験がうまく生かされるか分からない・傍聴者を増やす。 ・答弁についてメモに取る気付き（再質問に活かす）等々、KPT を通して生徒たちの素直な意見をいただけた。 <p>◆議会としてしっかりしたまとめをして、今後の取り組みに活かさなければならない。</p>

振り返って	<p>▲これまで市議会は、市民に開かれた議会を目指して多くの議会改革に取り組んでいますが、残念ことに議会や議員の活動が見えにくいという指摘の上、市政や議会への関心が低く、議員を目指す人も伺えない実態にありました。</p> <p>▲そこで、この度の「模擬議会」は、「市議を目指しやすい環境整備検討会」の提言の1つ「二元代表制のもと、行政と市議会は市政の両輪として機能している」ことを理解してもらうために、また、政治に触れる機会が比較的少ないと考えられる層の政治への関心を高めるために、小中学生・高校生、女性、若者などを対象とした「模擬議会」を、年1回を目途に開催する」を根拠として取り組んだものです。</p> <p>▲吉川中学校の皆さんのご協力で、所期の目的は立派に達成できたと思います。</p> <p>未来を担う中学生が、「わがまち・上越」の将来に思いを馳せ、自らが考える「夢と希望」を語り、実現させえるための場に進化できればと思っています。</p>
-------	---

今後の参考

一般質問の原稿構成について、あらかじめ下記のような基本を紹介しておいた方が良かったと思う。

1. 自身はだれか、質問順など述べる：
吉川中学校3年〇〇〇〇 通告順に従い一般質問することを宣言する。
2. 質問項目を先に述べる：最初に、大きなテーマ〇〇〇〇を述べる。
3. 質問の背景を述べる：なぜ質問するかという背景を言う。
4. 質問の本題に入る：
質問する核心を質す。(質問が複数の場合は、項目ごとに質す)
5. 結び：「以上、お答えお願いします。」など言う。